

1 基本情報

施設名称	大阪市立鶴見区老人福祉センター
施設所管課・担当	福祉局高齢者施策部高齢福祉課（電話：06-6208-8054）
条例上の設置目的	高齢者に関する各種の相談に応じ、高齢者に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与するとともに、高齢者の地域福祉活動を支援することを目的とする。
業務の概要	高齢者の生活に関する相談・高齢者の健康の増進及び地域福祉活動に関する情報の収集及び提供・講演会、講習会及び教養講座の開催・高齢者のレクリエーション活動の機会の提供・高齢者の地域福祉活動その他自主的活動の支援。
成果指標	①センター利用者向け実施する満足度調査で、「満足（やや満足）と回答される方」の割合 ②センターの延べ利用人数 令和2年度～令和4年度の年間利用人数の平均以上 ③センターの登録人数 令和2年度～令和4年度の年間登録人数の平均以上
数値目標	①85.6%以上(26ある老人福祉センターで実施(令和2年度～令和4年度)したアンケートの平均) ②36,221人以上（当センターの令和2年度～令和4年度の年間利用人数の平均） ③649人以上（当センターの令和2年度～令和4年度の年間登録人数の平均）
指定管理者名	社会福祉法人大阪市鶴見区社会福祉協議会
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	満足（やや満足）と回答される方 の割合	センターの延べ利 用人数	センターの登録人数
数値目標	85.6%	36,221	649
年度実績	89.9%	48,785	772
達成率	105.0%	134.7%	119.0%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	48,785	49,644	-859

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	18,019,000	18,493,000	0	—
	計画	18,019,000	18,493,000		
利用料金収入	実績	0	0	0	—
	計画	0	0		
その他収入 (自主事業収入)	実績	525,390	512,100	525,390	—
	計画	0	0		
合計	実績	18,544,390	19,005,100	525,390	—
	計画	18,019,000	18,493,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	13,213,452	12,457,419	1,052	—
	計画	13,212,400	13,110,000		
物件費	実績	5,437,095	5,643,844	630,495	光热水費の価格高騰や修繕費の増
	計画	4,806,600	5,383,000		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	0	0	0	—
	計画	0	0		
合計	実績	18,650,547	18,101,263	631,547	—
	計画	18,019,000	18,493,000		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
アンケート調査で「満足（やや満足）と回答される方」の割合	105.0%	B	講座・イベントなどの定員数を増やしたり、男性利用者の増加に向けた取り組みを実施したり等、工夫しながら実施していく中で、本市が定める水準を達成している。
センターの延べ利用人數	134.7%	S	講座・イベントなどの定員数を増やしたり、男性利用者の増加に向けた取り組みを実施したり等、工夫しながら実施していく中で、本市が定める水準を大幅に超える成果があった。
センターの登録人數	119.0%	A	講座・イベントなどの定員数を増やしたり、男性利用者の増加に向けた取り組みを実施したり等、工夫しながら実施していく中で、本市が定める水準を超える成果があった。

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・比較見積調達による経費節減。 ・自然の外気を取り入れた空調による光熱費の節減。	B	光熱費の高騰の影響があったが、比較見積調達による経費節減を行うなど、市費の縮減に努めた。

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	・建築物や設備の法定点検を適切に行っている。 ・併設施設と合同で、消防署と連携した消火等訓練を複数回実施することにより利用者の安全管理を図っている。
事業計画の実施状況	B	・区老人クラブ連合会の発案で、「ポッチャ交流大会」などの出前講座を開催したり、センター主催のカフェやサークルでのボランティア活動を行ったりなど工夫しながらセンター運営に努めている。
施設の有効利用	B	・区行政連絡調整会議及びボランティア・市民活動センター運営委員会などに参画することにより、地域関係団体等と連携している。また、区制50周年行事で「共同募金活動」や車椅子体験行事などにも参加している。
社会的責任・市の施策との整合性	B	・個人情報保護規定などを定め、個人情報の保護を行っている。 ・環境保護対策として、用紙、消耗物品の節減など実効性のある取組を行っている。

5 利用者ニーズ・満足度等

（1）調査方法

センター利用者に対してアンケート調査を実施

（2）回答者251人（未記入者含む）

（3）質問項目

ア 基本的な事項（年齢、居住区等）

イ 満足度

ウ 電子機器等で学びたい内容、やりたい活動

（4）結果

・総合満足度において、満足（やや満足）と回答される方が89.9%となっており、利用者の満足度は非常に高い。

6 外部専門家意見

1.事業報告書のPDCAの書き方について、評価の項目に、実行の内容が記載されている場合もあったため、実行と評価の内容を整理して記載いただきたい。
2.アウトリーチ講座がきっかけで、地域にポッチャチームができたのは、素晴らしい成果であり評価できる。また、eスポーツの際に、ニックネームの名札を付けて、ニックネームのみで呼び合うのは、仲間づくりの意識の形成に大いにつながったと思う。工夫された事業であり評価できる。
3.男性利用者を拡大するため、モルック・ボウリング等の体を動かす系の事業を実施することや、男性の興味のありそうな講座を増やすよう検討していただきたい。
4.学生ボランティアにeスポーツの指導を頼むなど、地域の社会施設を取り込んで、若い世代との交流を検討していただきたい。
5.センターだよりに、事業報告を掲載することを検討していただきたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	S	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査の満足度は89.9%と非常に高く、市が設定した数値目標の達成率は105.0%であり、目標に達成している。 ・センターの延べ利用人数の目標達成率は134.7%と非常に高い。利用者のニーズや意見等をよく把握し、講座の開催回数の調整に努めていることもあり、延べ利用人数は48,785人となっている。この数値は26館中、群を抜いて1位であり、全館平均利用人数(24,213人/26館)の約2倍となっていることは、大いに評価できる。 ・センターの登録人数の目標達成率は119.0%と概ね120%であり、大いに評価できる。
管理経費・市費の縮減	B	光熱費の高騰の影響があつたが、用紙、消耗物品の節減や、比較見積による物品購入を行うなど、市費の縮減に努めた。
管理運営の履行状況		
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		<ul style="list-style-type: none"> ・「楽しく、体を動かしたい」という利用者ニーズを把握しながら、介護予防の実践として、運動系事業を数多く開催し、関心の高い講座は開催回数を増やすことで、延べ利用者数は26館中1位と群を抜いている状況で大いに評価できる。また、高齢者ができる限り健常な状態を維持し、介護や支援が必要な状態にならないように、百歳体操を継続して開催し、フレイル予防トレーニングは開催回数の倍増を行い参加者が増加している状況である。
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性	S	<ul style="list-style-type: none"> ・センターの活動から波及する形で鶴見区ボッチャ交流大会が開催されるなど、これまでの取組みが各地域での仲間づくりにもつながっており、当区の施策「気にかける・つながる・支え合う地域づくり」にも結びつく、欠かせない取組みとなっている。 ・スマホやパソコンなどの電子機器をより身近に感じて楽しみながら介護予防の実践に役立てる取組みとして、スマホ体験講座などを継続して行うことや、活動報告をLINEなどで配信することで、利用者がICT機器を活用する動機付けを図っており、LINEの友達登録数も増加している状況である。 ・また、広報活動として紙媒体のセンターだよりにLINEやインスタグラムにアクセスできる二次元コードの掲載を始めるなど取組みから、センターの利用促進にも期待ができる。
総合評価	S	本市の定める水準で想定した以上の効果が得られた。